

目次

口 絵

刊行のことば

凡 例

三郷村 村長
三郷村誌刊行会長

西山 馥司

xix xvii

第一章 原始の三郷

第一節 三郷の埋蔵文化財

一 生活環境と遺跡・遺物

1 現在の地形が形成されるまで

2 地中に刻まれた人間の歴史 3 時代の区分と特徴

二 埋蔵文化財の調査と保護

1 これまでの考古学的調査

2 遺跡の保護と今後の展望

第二節 旧石器時代の三郷

一 最初の人間を追い求めて

1 私たちの直接の祖先誕生まで

2 日本人の祖先と野尻湖人のくらし

二 三郷の歴史の幕が開くまで

1 松本平の旧石器時代 2 東小倉遺跡出土の尖頭器

第三節 縄文時代の三郷

一 一万年続いたくらしの舞台

1 日本列島独自文化の発達

2 三郷に住んだ最初の人々

3 山麓さんろくに栄える縄文集落

4 新たな生活の場を求めて

二 縄文人のくらし

1 ムラの成立と継続 2 住まいと周辺環境

3 食べ物と道具 4 着物と装身具

三 縄文人の精神生活

1 生死と祈り 2 人と物の交流

第四節 弥生時代の三郷

一 新しい文化の展開

1 大陸から三郷までの道 2 農耕文化の定着・発展

二 弥生人やよいじんのくらし

1 見事な新旧折衷の生活 2 ムラからクニへ

第五節 古墳時代の三郷

一 国家の成立と古墳の造営

1 巨大古墳と大王の時代 2 松本平の古墳時代

二 古墳時代の人々のくらし

1 穂高古墳群を支えた人々

2 なぞの多い古墳時代の三郷

第二章 古代・中世の三郷

第一節 古代の三郷

一 律令制下の信濃

1 信濃国府と律令支配

二 律令制の解体と新たな開発

1 松本平における集落の大きな変化

2 低地への開発と三郷の古代

3 集落の変遷を通じた古代の安曇野

三 古代の人々のくらし

1 重税のなかを生き抜く

2 土地開発と条理的地割

第二節 安曇郡の成立と三郷

一 古代の信濃

1 国・郡・里の制定

二 安曇郡の成立とムラ

1 安曇郡の成立 (1)安曇の名称 (2)安曇郡の規模

2 郷の推移と安曇郡四郡の位置

3 高家郷

4 八原郷

5 前科郷と村上郷

三 古幡牧(西牧)

1 古幡牧と西牧

2 西牧の範囲

第三節 荘園のころの三郷

一 荘園の成立と住吉荘

1 荘園の三類型

2 住吉荘の成立

3 開発・在地領主 (1)開発の端緒 (2)在地領主 (3)領家

4 領域

二 荘園の遺構としての社寺

1 住吉神社

2 龍峰寺

3 熊野神社

4 平福寺

5 長徳寺

6 泉光寺

三 荘園市場

1 七日市場

2 一日市場

3 六日市場

第四節 住吉荘の開発と三郷

一 耕土分布と水田開発

二 山麓の開発

1 北小倉

2 南小倉

三 黒沢川による原始開発

1 黒沢川による開発

2 長尾・二木の開発

2 楡・住吉の開発

4 及木西村の開発

3 西中萱の開発

四 長尾堰による開発

五 横沢堰による開発

六 庄野堰による開発

1 庄野堰の役割

2 庄野堰と集落

七 成相堰（真鳥羽堰）と下中萱……………127

八 温堰による開発……………127

九 梓川揚堰の開発時期……………131

1 温堰の梓川導水堰 2 荒堰（温堰）による開発

第五節 武士の時代と三郷……………137

一 中世の安曇平……………137

1 小笠原氏の入信 2 大文字一揆と大塔合戦

3 中央の動向と小笠原氏

二 二木氏の動向……………142

1 初見 2 二木氏の遺構 (1)二木豊後屋敷

(2)二木土佐屋敷 (3)草間肥前屋敷

三 武田氏の信濃進攻……………146

1 「二木家記」が語る戦国時代

(1)塩尻峠の戦い (2)府中の戦い (3)野々宮の戦い

(4)中塔城の戦い (5)西牧氏の動向

2 武田氏の安筑支配

四 小笠原氏の安筑支配……………157

1 府中回復 2 知行割 3 城下集住と兵農分離

五 城跡と館跡……………160

1 長尾城 2 小倉城 3 中塔城

4 堀屋敷 (1)上総屋敷 (2)瑠璃光寺堀屋敷

(3)及木の堀屋敷 (4)上中萱の堀屋敷 (5)下中萱の堀屋敷

(6)一日市場の堀屋敷

第六節 三郷の主な社寺……………173

一 中世からの神社……………173

1 八幡宮 北小倉 2 白山神社 北小倉

3 吾妻屋社 南小倉 4 諏訪神社 南小倉

5 諏訪神社 上長尾 6 住吉神社 榎

7 諏訪神社（三柱神社）二木 8 伍社宮 及木

9 熊野神社 中萱

二 近世以降の神社……………180

1 津島社 野沢 2 諏訪神社 七日市場

3 神明社 一日市場 4 貞享義民社 中萱

5 玉鉾神社 室町

三 再興されなかつた寺院……………183

1 三郷近世村の寺院 2 金峯山泉光寺 南小倉

3 満珠山龍峰寺 榎 4 真縁山生善寺 住吉上手村

5 戸隠山善福寺 住吉小住吉

6 修南山善導寺 一日市場

7 二木山長徳寺 一日市場 8 仏花山法国寺 中萱

四 再興された寺院の概況……………187

1 一仏山浄心寺 北小倉 2 無量山瑠璃光寺 野沢

3 長尾山平福寺の観音堂

4 興国山真光寺 一日市場 5 見石山歎喜寺 中萱

第三章 水野期の三郷……………191

第一節 水野氏入封前の松本領……………193

一 近世初頭の安曇野……………193

二 石川氏の時代……………195

- 1 石川氏の入封……………2 天正郷帳

3 筋郷制による村支配……………

三 小笠原氏の時代……………200

- 1 小笠原氏の入封……………2 住吉村の成立

四 前の戸田氏の時代……………204

- 1 戸田氏の入封……………2 組村制による郷村支配

五 松平氏の時代……………206

六 堀田氏の時代……………207

コラム 水野氏前中仁科筋・長尾組政役人一覧……………

第二節 水野期の村支配……………209

一 水野期成立の三郷近世村……………209

- 1 村成立の時期……………2 野沢村の分村

- 3 七日市場・一日市場村の分村……………

- 4 二つの中萱村・長尾村……………

二 村の政治……………213

- 1 組制度……………2 村方三役の成立……………3 五人組の役割……………

三 水野氏の統治……………218

- 1 法度による統治……………2 寛文九年の御法度……………

- 3 生類憐令と松本藩……………4 領主の領内巡郷……………

四 長尾組の慶安検地……………222

- 1 慶安検地……………2 検地帳……………

五 慶安検地後の検地……………226

- 1 再検地村と結果……………2 検地なしの永引地……………

- 3 検地帳寄せ一覧……………

六 水野期の宗門改……………231

- 1 宗門改の制度化……………2 松本藩の宗門改……………

- 3 野沢村人別改帳……………4 宗門改の仕方……………

第三節 水野期の税制……………235

一 本年貢……………235

- 1 年貢免状……………2 長尾組の年貢納め……………

二 諸税……………240

- 1 小物成・小役……………2 運上・冥加……………

三 課役……………242

- 1 軒役と鍵役……………2 成相新田宿の伝馬……………

- 3 追鳥狩……………4 門松伐り届け……………5 小人と郷夫……………

四 国役……………247

- 1 茶壺道中など助郷……………2 国役金……………

第四節 水野期の開発……………249

一 慶安検地前の開発……………249

1 水野期前の開発……………2

二 慶安検地後の開発……………253

1 開発状況の概観……………2

三 開発と争論……………258

1 長尾東原の所屬争い……………2

3 古法尊重と新堰争い……………

第五節 貞享(加助)騒動……………263

一 飢饉と改革……………263

1 はじめに……………2

3 寛文の凶作と農民保護策……………

4 延宝二、三年の凶作と飢饉……………

5 延宝八、九年の凶作と飢饉……………6

二 貞享(加助)騒動……………268

1 起こるべくして起こった騒動……………2

3 五か条訴状の提出……………4

5 回答書……………6

7 騒動の評価を問う……………8

第六節 水野期の諸事件……………297

一 老中に駕籠訴した農民……………297

1 分家領が他領となる……………2

3 分家老岐守領が他領に……………4

5 領民、幕府老中に駕籠訴……………

二 長尾組手代の「松本大變記」……………305

1 松本大變……………2

コラム 『三郷村誌Ⅱ』に活かした御用留……………

第四章 戸田期の三郷……………311

第一節 戸田氏の政治……………313

一 戸田氏の統治理念……………313

1 戸田氏の再入封……………2

3 初代光慈と領民……………

二 戸田期の藩政改革……………316

1 志一つに安永の改革……………2

3 文化文政期の改革と産物役所……………

4 天保の改革と儉約令……………5

第二節 戸田期の宗門改……………327

一 宗門改帳の様式変更……………327

1 宗門・五人組合冊改帳……………2

3 宗門改時の提出文書……………

二 宗門改の準備……………331

- 1 去来願提出
- 2 宗門改下帳の作成
- 3 長尾組の内改

三 宗門改の仕法……………334

- 1 出郷改から役所改へ
- 2 宗門出郷改

3 宗門役所改

コラム 安永五年（一七七六）の浄心寺中

第三節 戸田期の検地……………337

一 二木村の再検地……………337

- 1 二木村の困窮
- 2 再検地の経過

- 3 再検地の実施状況
- 4 再検地の結果

二 堂原西御林の検地……………343

- 1 堂原西御林新切
- 2 御林新開場検地

三 天保三年慶安並み検地……………346

- 1 天保検地の必要性
- 2 天保検地の経過

- 3 天保検地の結果

コラム 野沢村庄屋日記

第四節 戸田期の税制……………353

一 定免制（法）の採用……………353

- 1 年貢徴収に定免制（法）導入

- 2 定免の年季切り替え

二 金納制の拡大……………356

- 1 戸田期の廻米
- 2 廻米の金納値段
- 3 年貢勘定帳と村役人の仕事……………359

コラム 松本城の堀浚い

第五節 戸田期の藩と村の財政……………365

一 藩の財政と御用金……………365

二 村の財政（夫錢帳）……………371

- 1 松本領の村入用勘定帳
- 2 夫錢帳の一斉作成

- 3 節約と格差是正を求めた夫錢掛り

- 4 天保十年の夫錢帳の分析
- 5 夫錢額の移り変わり

- 6 小物割にみる村役人の仕事ぶり

第六節 戸田期の騒動……………385

一 文政の赤糞騒動（大町騒動）……………385

二 長尾組の村方出入……………392

- 1 出入と内済の裁判制度

- 2 御林の盗木出入 (1) 日常化していた御林の盗木

- (2) 盗木から始まった若き者石打ち事件

- 3 村費を巡る村方出入

- (1) 中萱村の社木・社地を巡る出入

- (2) 七日市場村の社木売買出入

- 4 祭礼と若者出入 (1) 新しい祭礼踊りの取り入れ

- (2) 文化六年野沢村の獅子櫓

- (3) 一日市場村と二木村の祭礼出入
- (4) 七日市場村と氷室村の祭礼出入
- (5) 天保十一年野沢村と下長尾村の祭礼出入
- 5 屋敷林を巡る出入
- 6 飲酒・酒狂いによる出入

第五章 近世の村人のくらし 407

第一節 村と家 409

- 一 村々の人数 409
 - 1 三郷近世村の人口 2 人口増減の要因
 - 3 村の婚姻圏
- 二 家数と家族構成 413
 - 1 村々の家数 2 家族構成
- 三 農家の住まい 416
 - 1 屋敷 2 民家の屋造り 3 本棟造と儉約令
- 四 農家のもてなし 419
 - 1 婚礼のもてなし 2 祝儀・音信
- 五 農民の衣生活 423

第二節 田畑の仕事 425

- 一 農家の田畑所有状況 425
 - 1 一軒当たりの耕地 2 小倉村の作出

二 稲作 428

- 1 稲ごよみ 2 稲の作付け品種 3 刈敷と蓮華
- 4 石灰使用禁止 5 耕作と牛馬

三 畑作 435

- 1 麦作り 2 綿と薄荷の栽培 3 諸作物の試作

四 畜産と養蚕 439

- 1 牛馬飼育農家数 2 松本藩の毛付駒改
- 3 長尾組の養蚕・蚕種

第三節 たんぼの水確保 445

一 用水堰と井掛り 445

- 1 梓川左岸諸堰と井掛り 2 井掛りの役割

二 揚口と堰筋の確保 447

- 1 中萱堰の揚口 2 温堰口の確保

三 梓川の水融通と水争い 455

- 1 梓川筋水融通の慣行 2 温堰内の水融通
- 3 寛政・享和の荒堰大普請
- 4 勘左衛門堰と拾ヶ堰 5 小室山の築堤

四 上ノ原揚堰構想 462

- 1 上ノ原揚堰の初発構想 2 余水による新堰開削
- 3 小倉御林開発新堰構想

第四節 山野の仕事

一 長尾組村々の入会

- 1 里村の林野
- 2 入会の林野
- 3 入会権の争い

4 入会山の利用

二 入会原の開発と分地

- 1 入会原が代官見立新田に
- 2 上ノ原の分地

3 神明宮南の森所屬争い

三 小倉御林

- 1 小倉御林とその利用
- 2 御林成立の時期

3 入山規定の成立

四 諸木川下げと長尾組

- 1 三溝大籠牛木
- 2 川下げの積木・散木

コラム 松本領殿さまの小倉室山来遊―御用留帳より―

第五節 作間稼

一 作間稼の状況

- 1 作間稼の勧め
- 2 幕末の作間稼

二 作間の店商

- 1 三郷にあった市場
- 2 水野期の商い

3 戸田期の商い

三 長尾組の物づくり

- 1 わら細工
- 2 小倉村の鍛冶炭
- 3 長尾組の足袋底織り
- 4 長尾組の水車稼

5 造り酒屋

四 作間の中馬稼

- 1 中馬の発達と争い
- 2 中馬稼の村と馬数

3 中馬の荷物

五 作間の職人稼

- 1 職人の免状や鑑札
- 2 幕末の諸職日当など

第六節 三郷の古道

一 三郷の古道図

- 1 山道・御林道
- 2 里村の道
- 3 三郷の千国道

二 「安筑画図」の千国道と飛驒道

- 1 「安筑画図」の千国道
- 2 松本からの飛驒道

三 飛州新道開削

- 1 飛州新道の構想
- 2 飛州新道の道筋

- 3 上高地まで開削
- 4 中尾峠越え新道開削

- 5 飛州新道道筋争い
- 6 飛州新道の閉鎖

四 長尾組の主要橋普請

- 1 村々の橋普請
- 2 主要橋の普請

3 橋普請入用金負担

第七節 戸田期の災害

一 凶作と飢饉

- 1 天明の飢饉
- 2 天保の飢饉

471

507

二 凶作と藩・村の対応 546

1 松本藩の囲穀まきこく 2 四か組囲穀蔵設置

3 組別囲穀蔵設置

三 風水害の記録 550

1 黒沢・鳴沢の氾濫はんらん 2 梓川の出水しゅすい

3 大風・大雪などの記録

四 三郷近世村の火災・地震の記録 557

1 三郷近世村の火災 2 長尾組辺の地震など

五 コレラ・疫病の流行 561

1 死の恐怖渡来 2 文久二年のコレラ流行

3 長尾組辺の疫病流行

第八節 村人の教育と文化 565

一 三郷の寺子屋 565

1 寺子屋以前の教育 2 三郷の寺子屋師匠

3 寺子屋の教育

二 心学の巡回道話 573

三 禁じられた芝居

四 句をたしなむ村人 576

第九節 村人の信仰 579

一 野仏への信仰 579

1 貞享義民供養塔の発見 2 村内の石仏や供養塔

3 講に結びついた供養塔 4 日待・月待供養塔

5 塞の神と呼ばれていた道祖神 585

二 寺や堂の仏像

1 県宝平福寺聖観音像 2 三郷村の仏像一覽

3 二木地藏堂の仏像 4 一日市場観音堂の仏像

5 南小倉薬師堂（青木堂）の仏像 591

三 杜寺の巡拝

1 善光寺参り 2 遠国巡礼札所巡り

3 川西三十四番札所 595

四 寺や堂の回向

1 長尾山平福寺の観世音開帳 2 野沢薬師堂回向記

5 播隆上人と三郷 598

1 槍ヶ岳開山の基地は小倉村 2 播隆と野沢村

3 播隆と上長尾村 4 播隆大願成就

5 景邦鎗ヶ嶽参詣記

第六章 維新前夜の三郷 609

第一節 黒船来航と長尾組 611

一 黒船来航 611

1 「公私年々雑事記」の黒船来航記

2 長尾組の異国船対応

二 幕末諸事件と出兵 616

1	東禪寺事件	2	台場警固と軍夫募集
3	水戸浪士軍の通過	4	長州戦争出兵
5	松本藩軍夫規定		

第二節 幕末助郷と長尾組

一	中山道助郷と安曇の村々	625		
1	中山道助郷	2	中山道助郷訴訟	625
3	相次ぐ助郷			
二	和宮下向と長尾組	630		
1	宿場の整備	2	長尾組中山道助郷村に	
3	村の警備と御用金			

第三節 村の御維新

一	木曾騒動の背景	635		
1	幕末米価の高騰	2	相次ぐ世情不安	635
3	木曾騒動の発生			
二	東征軍と長尾組	641		
1	東征軍の入信	2	北越戦争と松本藩	
三	維新松本藩の改革	647		
1	維新の制度変革	2	版籍奉還と藩政改革	
四	村の御維新	650		
1	戊辰戦後の波乱	2	村人たちの要求	
3	村政改革着手	4	百姓惣代選任	

五 廃仏毀釈と戸籍帳

1	松本藩の廃仏毀釈	2	松本藩最初の戸籍帳	656
---	----------	---	-----------	-----

付表 一	長尾組歴代組手代・大庄屋	663
------	--------------	-----

付表 二	三郷近世村歴代庄屋・組頭	664
------	--------------	-----

付表 三	松本領暮立(冬立)初値段	673
------	--------------	-----

付表 四	三郷村歴史年表	676
------	---------	-----

付 図 三郷村の近世古道・用水路図

執筆等分担	696
-------	-----

史料・資料提供者	697
----------	-----

参考史料・文献	698
---------	-----

三郷村誌編纂委員会名簿	701
-------------	-----

三郷村誌刊行会名簿	703
-----------	-----

三郷村誌編纂委員会事務局	706
--------------	-----

あとがき	707
------	-----